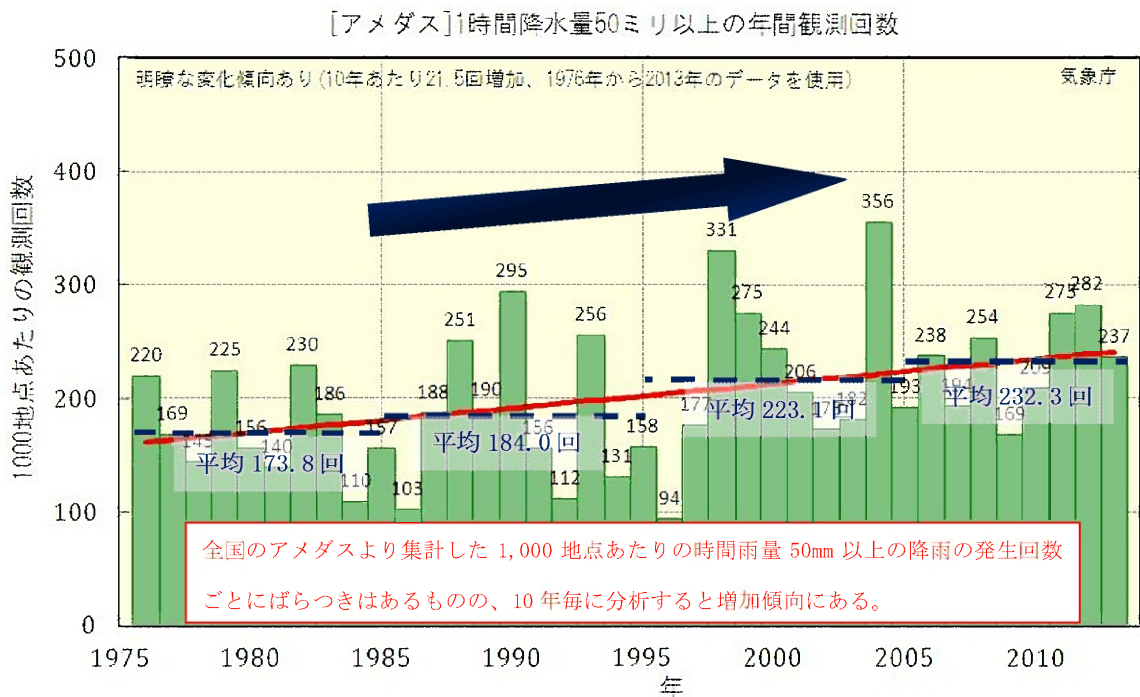


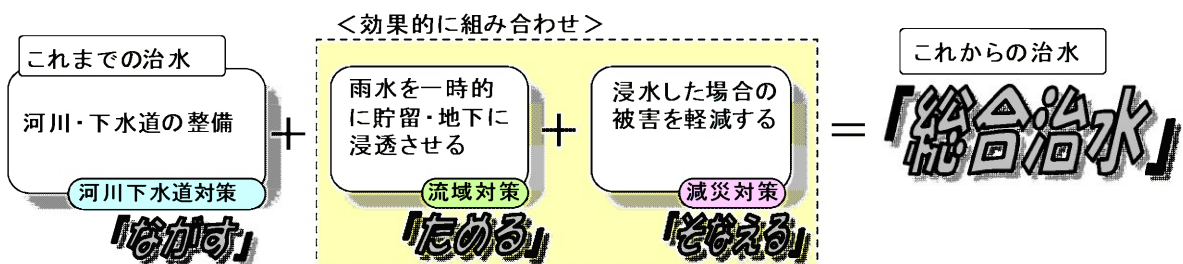
## 2. 計画策定の背景

近年、台風や前線等による影響により、下記表のとおり局地的な大雨の回数が全国的にも増加傾向にある。また、開発や都市化の進行により、これまでよりも雨水の流出量が増加し、全国各地で浸水被害が頻発している。

高砂市においても過去、幾度となく浸水被害を受けているが、特に平成 23 年 9 月の台風 12 号では、甚大な浸水被害を受けた。結果、これまでの治水事業だけでは降雨による浸水の発生を抑制し、浸水被害を軽減することは困難になってきている。



なお兵庫県では、これまで進めてきた河川や下水道の整備である「河川下水道対策（ながす）」に加え、雨水を貯め・もしくは地下へ浸透させて流出を抑える「流域対策（ためる）」、浸水被害が発生した場合でも被害を軽減する「減災対策（そなえる）」を組み合わせた「総合治水」を県・市町・県民が相互に連携し、協働して推進することにより、浸水被害の軽減を図ることを基本理念とする「兵庫県総合治水条例」を平成 24 年 4 月に制定した。



この様な状況から、高砂市においても水害に強い安全・安心なまちづくりを実現するためには、これまでの河川や下水道のハード整備を中心とした「ながす」対策だけでなく、「ためる」流域対策と「そなえる」減災対策を組み合わせた「総合治水」を推進していくものである。

## 「ためる」・「そなえる」・「ながす」とりくみ

大雨による水害から命と暮らしをまもるために、  
県や市町とともに「総合治水」にとりくみましょう。

**① ためる**

森をまもってためる

**② ためる**

ため池でためる

**③ ためる**

水田で  
ざらにためる

**④ ためる**

土や砂が流ったがわりに  
池をつくってためる

**⑤ ためる**

タンクで  
ためる

**⑥ ためる**

グラウンド  
でためる

**① そなえる**

浸水する  
聴取を  
知る

**② そなえる**

川の  
水位や  
雨の状況  
を知る

**① ながす**

ダムを  
つかって  
川の水を  
減らす

**② ながす**

川を大きくして流せる水を増やす

**① そなえる**

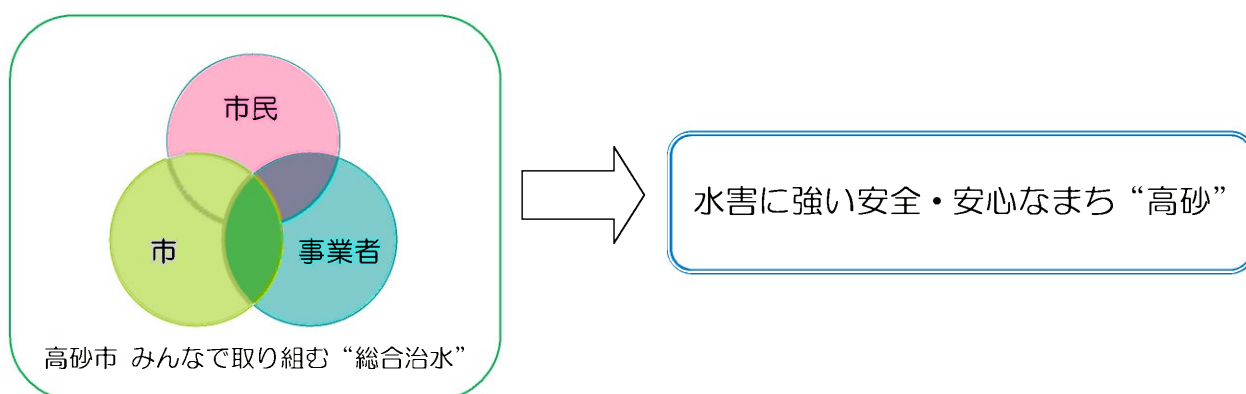
避難  
訓練を  
する

**② そなえる**

へいを  
つくる

### 3. 計画の目的

高砂市総合治水推進計画は、兵庫県総合治水条例の基本理念に基づき、市・市民・事業者が協働して浸水被害解消に向けた取り組みを行うため、高砂市の地形的特性や過去の浸水状況、既存の雨水排水計画等をもとに、計画目標及び計画期間等を定めるとともに、「ながす」河川下水道対策、校庭や公園での雨水貯留等の「ためる」流域対策、浸水ハザードマップ・氾濫予測等の情報提供など「そなえる」減災対策について、市・市民・事業者それぞれの取り組み内容を明確にし、水害に強い安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。



#### <参考>兵庫県総合治水条例抜粋

##### (市町の責務)

**第4条** 市町は、基本理念にのっとり、その区域の特性を生かした総合治水に関する施策を策定し、及び実施するようにするものとする。

2 市町は、前項の施策の実施に当たっては、国及び県と連携し、当該施策を効果的に実施するようにするものとする。

##### (県民の責務)

**第5条** 県民は、基本理念にのっとり、一人ひとりが雨水の河川等への流出を抑制し、適切に浸水の発生に備えるようにするものとする。

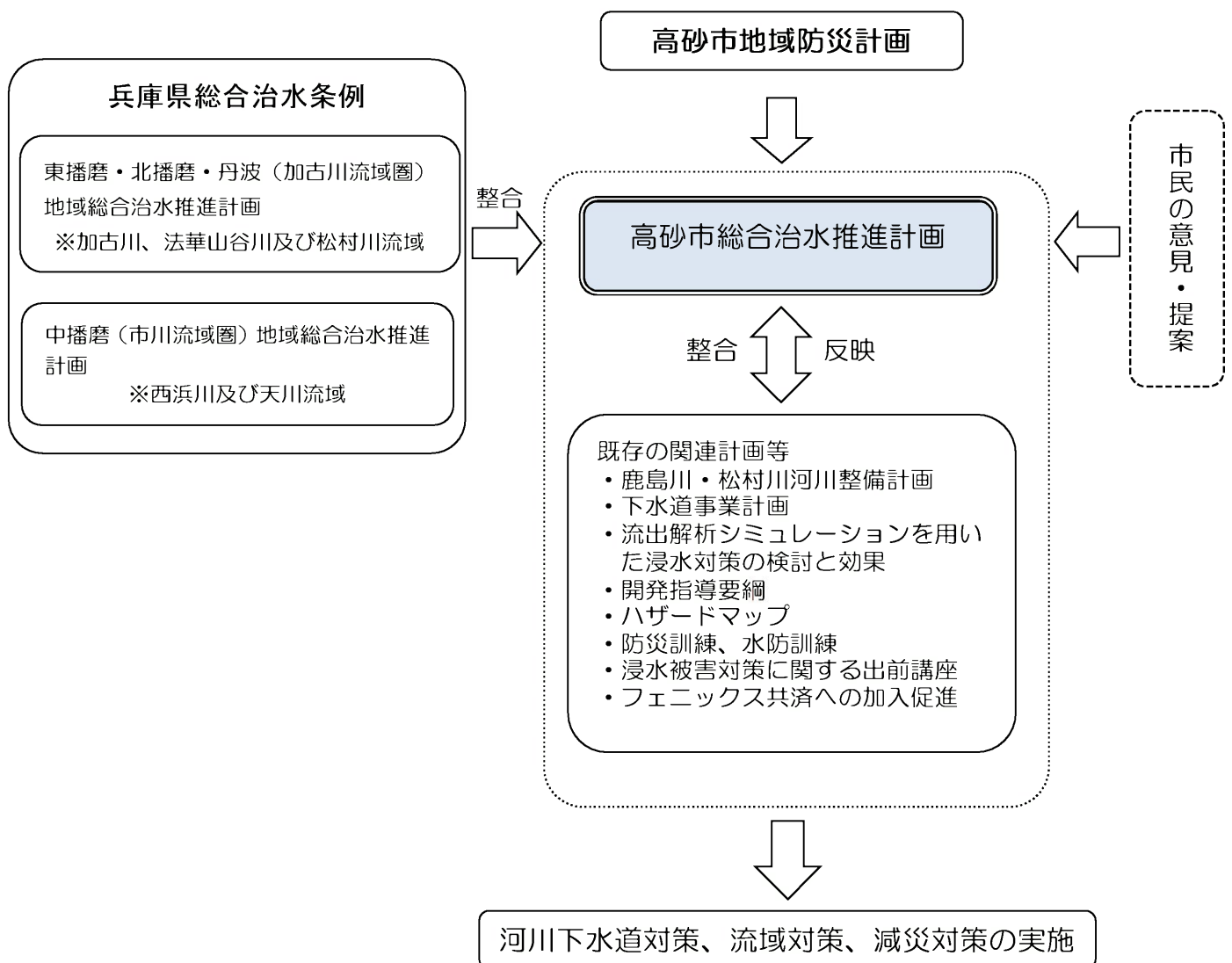
2 県民は、国、県及び市町が実施する総合治水に関する施策に協力するものとする。

#### 4. 計画の位置づけ

##### 高砂市総合治水推進計画の位置づけ

高砂市総合治水推進計画は、高砂市地域防災計画を上位計画とし、兵庫県の総合治水条例に基づく加古川流域圏及び市川流域圏地域総合治水推進計画と整合を図り、市・市民及び事業者が協働して浸水被害の軽減に向けた取り組みをおこなうための目標、期間及び内容等を明確にするために策定するものである。

この計画をもとに「河川下水道対策」、「流域対策」、「減災対策」の具体化を図ることとし、既存の計画や要綱等と整合を図るとともに、今後作成する計画等にも反映し、水害に強いまちづくりを目指す。



## 5. 計画の目標及び期間

平成 23 年の台風 12 号と同程度の降雨に対し、平成 29 年度末までに床上浸水を解消し、平成 34 年度末までに床下浸水を解消することを目標に「ながす」河川対策や下水道対策を実施する。

あわせて、「ためる」流域対策と「そなえる」減災対策を実施することにより、想定を超える降雨に対しても、より安全なまちづくりを実現していく。

